

## 日本の母子保健対策

# 文京区版ネウボラ事業における 親子の包括的支援

平成30年1月29日（月）

東京都文京区文京保健所保健サービスセンター

木内 恵美

# 文京区の概要



## ◆位置

文京区は、東京都の区部（23区）の中心地に近く、都心3区（千代田、中央、港）のやや北西部に位置しています。

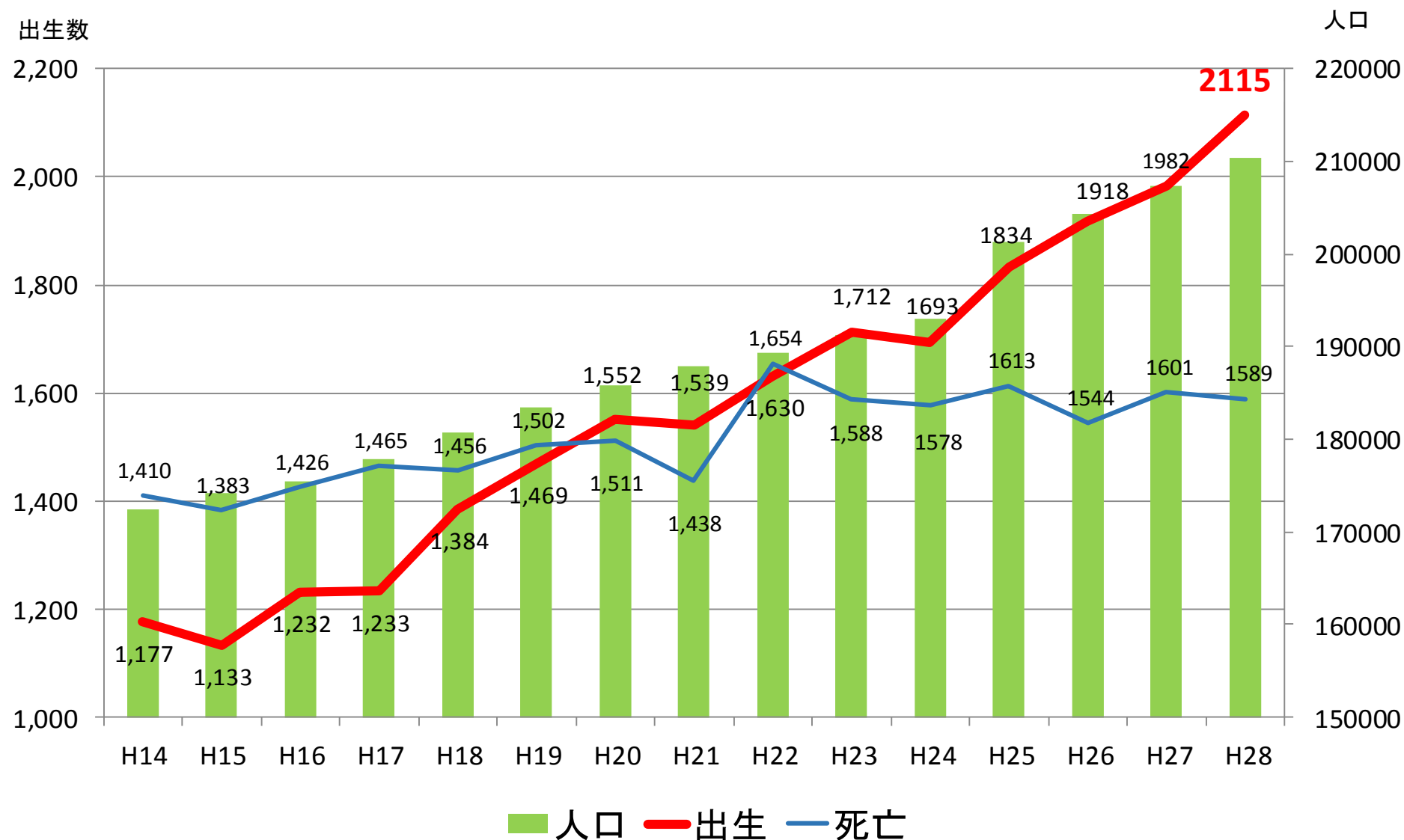
## ◆面積

11.29km<sup>2</sup>（大きい方からみて23区中20番目）

- ◆人口 217,419人
  - 18歳未満人口 30,643人(14.1%)
  - 65歳以上人口 42,830人(19.7%)
- ◆出生数 2,115人(平成28年)
- ◆分娩を取扱う医療機関 5か所
- ◆助産所 1か所

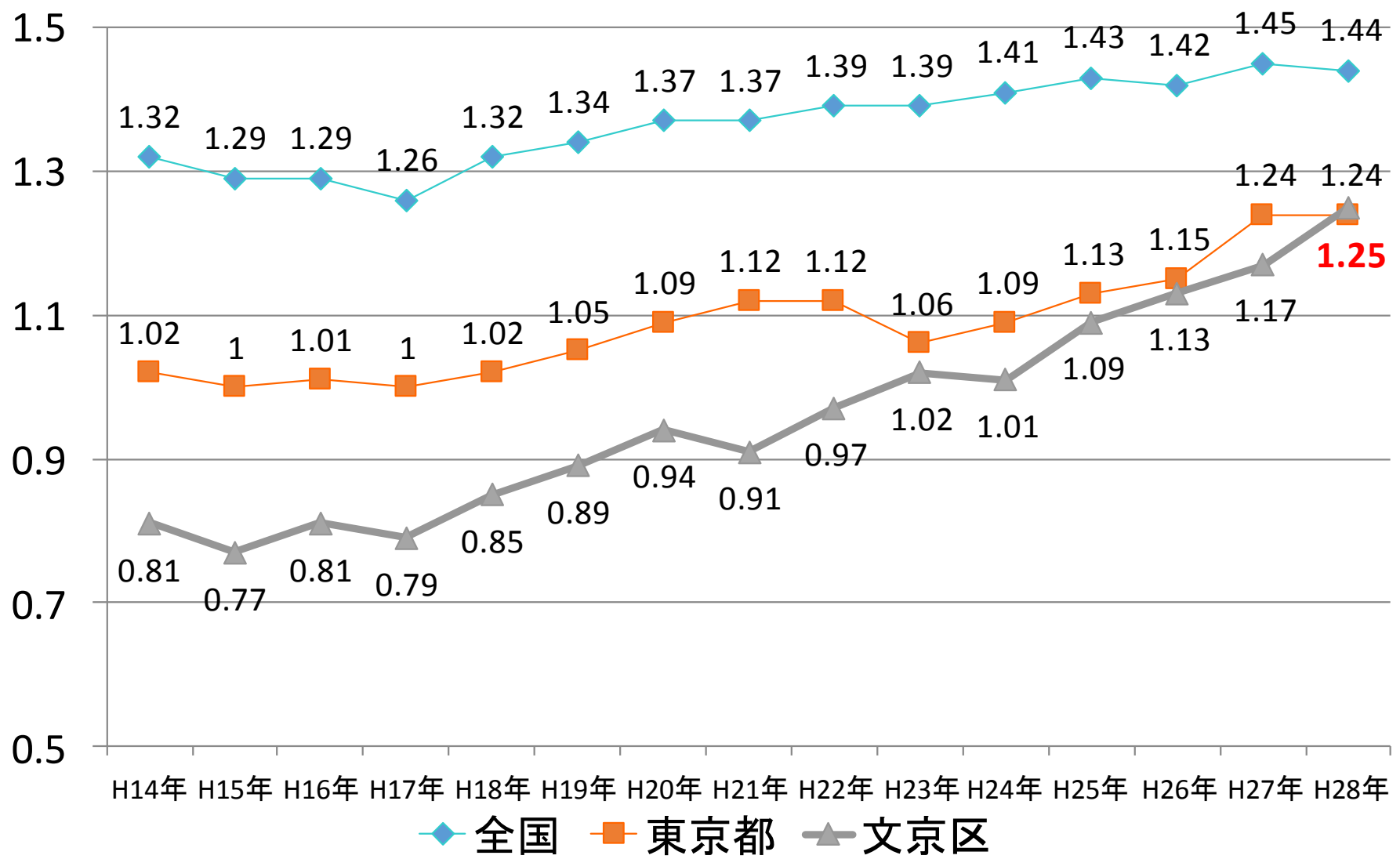


# 文京区の保健統計 人口と出生数・死亡数の推移



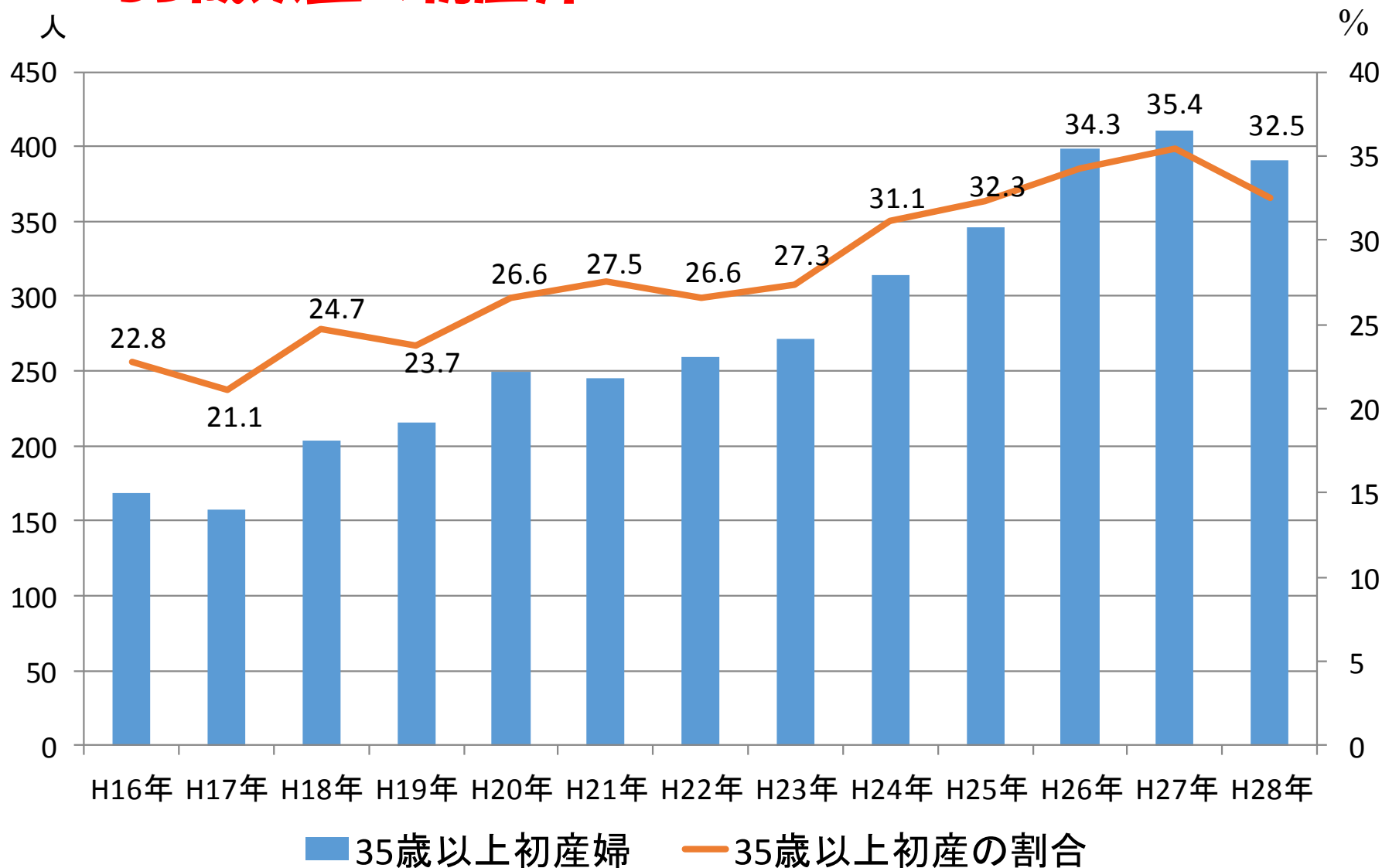
# 文京区の保健統計 合計特殊出生率の推移

合計特殊出生率は全国や東京都の平均を下回って推移してきましたが、平成28年は1.25で、平成15年の0.77から徐々に改善してきています。



# 文京区の保健統計

## 35歳以上の初産婦



# 文京区版ネウボウ事業導入の背景 (子育て世代包括支援センター設置の経緯)

- 核家族化、地域のつながりの希薄化等により、地域において妊産婦やその家族を支える力が弱くなってきており、出産直後の心身のケアや妊産婦の孤立感の解消等が必要になっている。
- 妊娠・出産支援を強化し、地域において、妊娠期から出産、子育て期へと切れ目なく支援していくことが重要である。

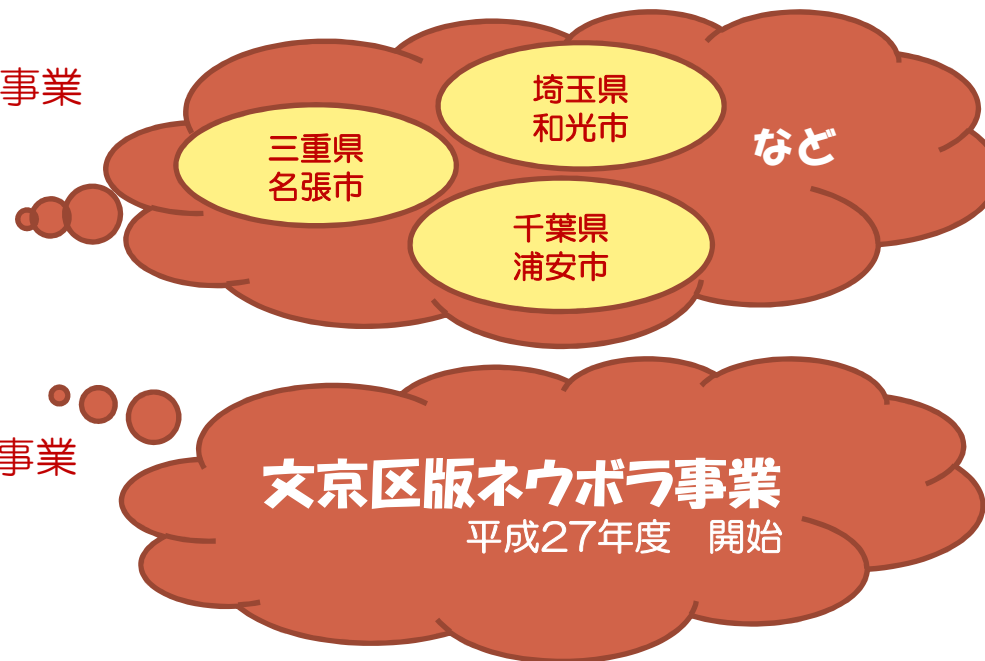
## 妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目ない支援の強化

### <平成26年度>

厚生労働省 母子保健医療対策等総合支援事業  
⇒『妊娠・出産包括支援モデル事業』

### <平成27年度>

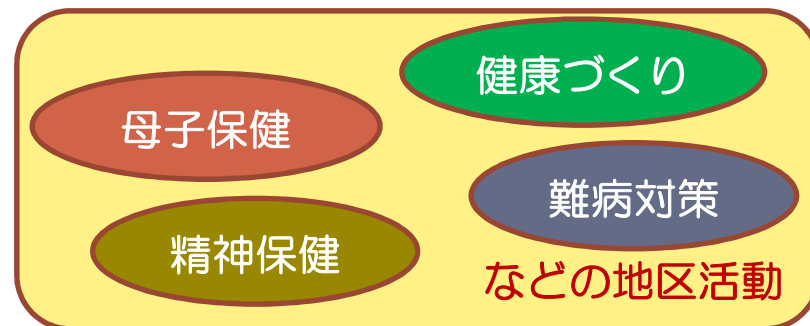
内閣府 地域子ども・子育て支援事業  
⇒『利用者支援事業（母子保健型）』  
厚生労働省 母子保健医療対策等総合支援事業  
⇒『妊娠・出産包括支援事業』  
東京都 出産・子育て応援事業  
⇒『ゆりかご・とうきょう事業』



「産後うつ早期発見の取組み」から「産後うつを発生させない取組み」へ！

# 文京区の 保健師の配置状況

(平成29年4月現在)



部署		人数
<b>保健衛生部</b>		
保健所	健康推進課	2
	予防対策課	4
	保健サービスセンター	12
	保健サービスセンター本郷支所	8
<b>福祉部</b>		
	高齢福祉課	1
<b>子ども家庭部</b>		
	子ども家庭支援センター	2

# 母子保健事業の体系的・重層的構成





# 文京区版ネウボラ事業

☆ネウボラとは…フィンランド語で『アドバイスの場』を意味する言葉

産前  
の  
準備

産中  
の  
サポート

産後  
の  
サポート

妊婦面接（ネウボラ面接）、乳児家庭全戸訪問事業、乳幼児健診等

## 母子保健コーディネーター（地区担当保健師）

- ①妊産婦や家族のニーズを踏まえた情報提供・必要に応じて支援プランの作成
- ②複数のサービス、継続的な支援を必要とする場合の、関係機関との連絡・調整
- ③必要に応じた定期的なフォロー

個々の状況により妊娠早期から産後にかけて関係機関と連携

医療機関

医師会

社協

助産師

地区組織

民生委員



妊娠に関する  
普及啓発

ハッピー  
ベビー  
健康相談

妊娠届

妊婦健診

両親学級  
母親学級

医療機関によるケア

乳児家庭全戸訪問

乳幼児健診

妊産婦訪問・新生児訪問

ネウボラ相談

### 産前・産後サポート事業

各種支援により妊産婦の孤立を防ぐ

育児グループ

産後セルフケア  
教室

「サタデーパパママタイム」

### 産後ケア事業

- ・宿泊型ショートステイ（八千代助産院）  
母体の回復、心身のケア、育児指導等
- ・母乳相談事業（訪問型・外来型）
- ・沐浴指導

子育て支援サービス

妊娠前

妊娠期

出産

産後

育児

# 子育て世代包括支援センター 母子保健型 母子保健コーディネーター



妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する様々な相談に対応

- 全ての妊産婦・乳幼児の状況を継続的に把握
- 妊産婦や家族の相談に応じ、ニーズを踏まえた情報を提供
- 必要に応じて支援プランを作成
- 複数のサービスや継続的な支援を必要とする場合には、関係機関との連絡・調整を行い直接つなぐ
- 地域の支援拠点等、関係機関との連携

## 《 各地区の担当コーディネーターのPR 》



母子保健コーディネーター・地区担当保健師  
赤ちゃんやお母さん、お父さんの健康のこと、  
妊娠中の不安などお気軽にご相談ください。

**木内 恵美**

担当地区 本郷2丁目  
                  本郷5丁目

(連絡先) 文京区保健サービスセンター  
電話：03-5803-1807

安心して子育てができるよう妊娠期から応援します！

妊婦にいい食べ物って？  
体重コントロールが難しい。。

子育てのイメージがでない、  
どんなサポートがあるのか知りたい！

疲れやすくなった。。

安心して子育てができるよう私たちがサポートします！

母乳が足りているのか心配。  
湿疹がひどい。受診が必要？

泣き止まないけどどうしたらいいの？  
なかなか寝てくれない！！

疲れがとれない。。  
どんなサポートがあるの？

こんにちは、母子保健コーディネーターです。  
ご妊娠・ご出産おめでとうございます。  
これから始まる妊娠生活、そして出産、育児、様々な不安や心配事がでてくると思います。  
私たち保健サービスセンター保健師が、母子保健コーディネーターとして  
妊娠期から出産、育児までの幅広い支援をさせていただきます。  
赤ちゃんやお母さん、お父さんの健康のこと、  
妊娠や出産、育児の不安など、お気軽にご相談ください。  
安心して子育てができるよう、わたしがサポートします！

子育てのイメージがでない。。  
体重コントロールが難しい！  
疲れやすくなった。。

母乳が足りているのか心配  
どんなサポートがあるの？  
なかなか寝てくれない！！

それぞれの地区に担当保健師がおりますので、お住まいの地区を確認し、お気軽にご相談ください。

地域	担当	地域	担当	地域	担当
大塚	1丁目	中野	1丁目	加藤	千石 3丁目
	2丁目	池袋	2丁目	池袋	3丁目
	3丁目	石塚	3丁目	小杉	白山 3丁目
	4丁目	加藤	後楽	4丁目	池袋
豊洲	1丁目	千代田	2丁目	新大塚	2丁目
	2丁目	新大塚	3丁目	池袋	3丁目
	3丁目	池袋	4丁目	池袋	4丁目
	4丁目	池袋	5丁目	池袋	5丁目
春日	1丁目	池袋	1丁目	池袋	1丁目
	2丁目	池袋	2丁目	池袋	2丁目
	3丁目	池袋	3丁目	池袋	3丁目
	4丁目	池袋	4丁目	池袋	4丁目
小石川	1丁目	池袋	1丁目	池袋	1丁目
	2丁目	池袋	2丁目	池袋	2丁目
	3丁目	池袋	3丁目	池袋	3丁目
	4丁目	池袋	4丁目	池袋	4丁目

文京区保健サービスセンター TEL: 03-5803-1807  
8:30-17:00(日曜日を除く)

# 産前・産後サポート事業 ネウボラ相談

## 目的

産前産後の不安の解消

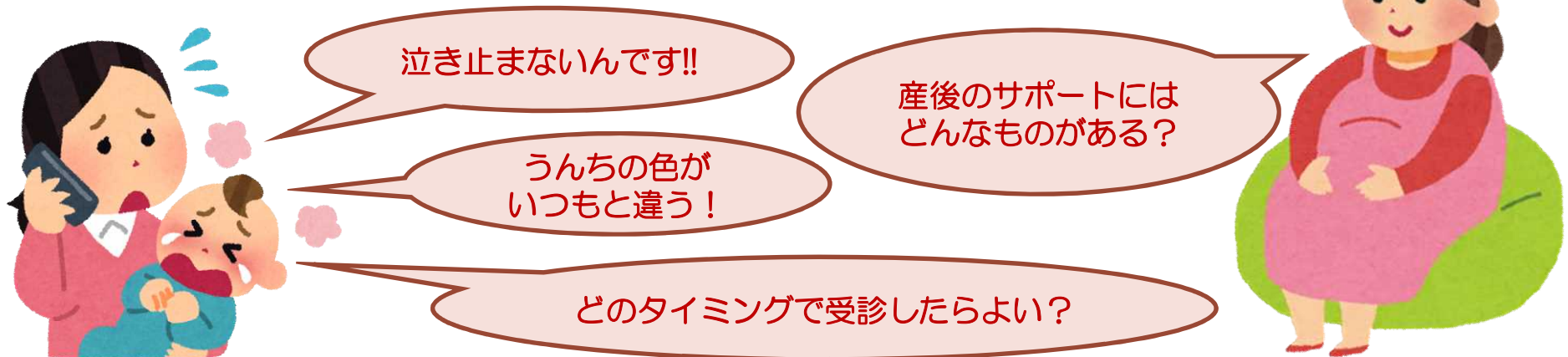
## 対象

区内在住の妊産婦や子育て中の親子

## 内容

産前・産後の健康や子育ての相談に保健師・助産師が応じる。

- ・保健サービスセンター：開庁時間に保健師が応じる
- ・八千代助産院：**365日** 助産師が応じる（9時～17時）



出産・子育て応援事業(ゆいかご・とうきょう事業)

# ネウボラ面接(妊婦全数面接)

## 目的

妊娠中に保健師・助産師が面接相談を行うことで、妊婦のさまざまな不安を軽減し、安心して妊娠・出産・子育てができるよう支援する。

## 対象

区内在住の妊婦

## 実施方法

- 保健サービスセンター、保健サービスセンター本郷支所で、妊婦本人が妊娠届を提出した際、その場で面接を実施。
- 区民サービスコーナーで妊娠届を提出した場合は、開庁時間に妊婦本人が保健サービスセンターへ来庁し面接を実施。  
➔ 面接を行った妊婦に、妊娠を祝福し生まれてくる赤ちゃんを歓迎するメッセージとして『育児パッケージ』を配付。

## 支援事例

- 若年妊婦、高齢初産妊婦
- 身体的・精神的に疾患や障害がある妊婦
- 多胎妊娠
- 相談者・協力者がいない妊婦
- すでに養育の問題がある妊婦
- 経済的に困窮している妊婦
- ネガティブ感情を抱えている妊婦
- など



# 産後ケア事業 宿泊型ショートステイ事業

## 目的

産後、家族等から十分な援助を受けることが困難で、心身の不調又は育児不安等がある産婦を助産院で受入れ、母体の回復を図り、育児等の支援を行う。

## 対象

- 産後4か月未満で体調不良や育児不安等がある。
- 家族等からの援助が受けられない。

## 内容

- 母体ケア（母体の健康観察、乳房のケアなど）
- 乳児ケア（乳児の健康観察、体重・栄養等のチェックなど）
- 育児指導、授乳指導、沐浴指導など

## 利用者の申請理由

- 両実家が遠方、高齢、介護中等でサポートが得られない。
- 高齢初産で体力的に不安。
- 初産で家族のサポートなく育児が不安。
- 夫が多忙（遠方勤務で早朝出勤・深夜帰宅、主張有、海外赴任中…）
- 産婦に基礎疾患（ex.バセドウ病、重症筋無力症）があり、産後の回復が不安。



産前・産後サポート事業

# サタデーパパママタイム



## 目的

月齢の近い子供を育てる父親を含めた親同士の交流を図ることで、子育ての仲間づくりを促す。土曜開催により父親からの相談にも積極的に応じる。

## 対象

0～3か月の乳児とその保護者

## 内容

子育てミニ講座  
パパママ同士の交流  
保健師・助産師の相談



パパとのおでかけは  
どこがおすすめ？

家事・育児  
分担どうしてる？

夜の寝かしつけ、  
パパはどうしてる？

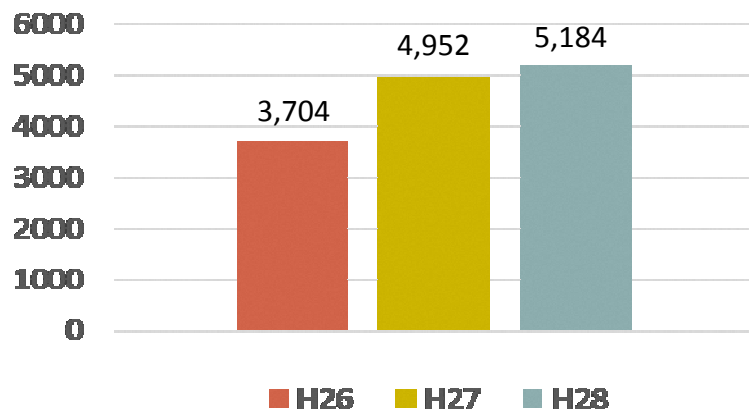
## 参加者の声

『近くに同じくらいの赤ちゃんを育てている人がいることがわかり心強く思った。』  
『ほかのパパ達の子育てを頑張っているのを見て、うちのパパもやる気になった。』  
『ほかの家の様子を聞くことができてよかった。安心した。』  
『今日をきっかけに今後もお付き合いをしていけそう。』

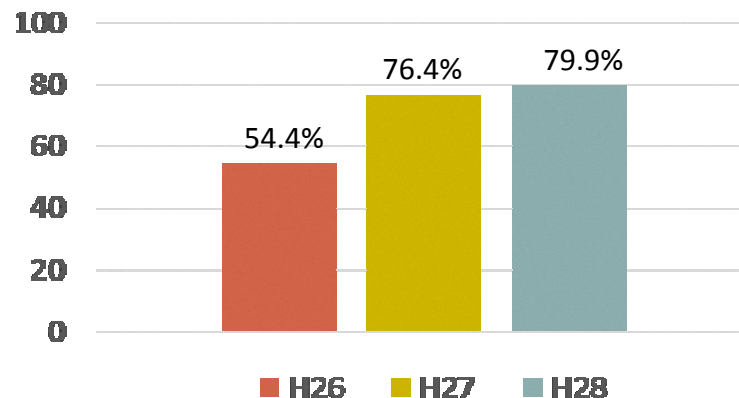
# 実績

※平成26年度はネウボラ事業開始前の参考値

## 【ネウボラ相談】(相談件数)



## 【ネウボラ面接】(面接率)



## 【宿泊型ショートステイ】(H28年度実績)

登録 件数	利用件数		利用 日数
	実	延	
128件	76件	79件	433日

初産	経産	産婦の年齢
46人	33人	平均35歳(28~46歳)



評価対象の事業

評価対象事業によっておこる現象の因果

中期的成果

社会インパクト

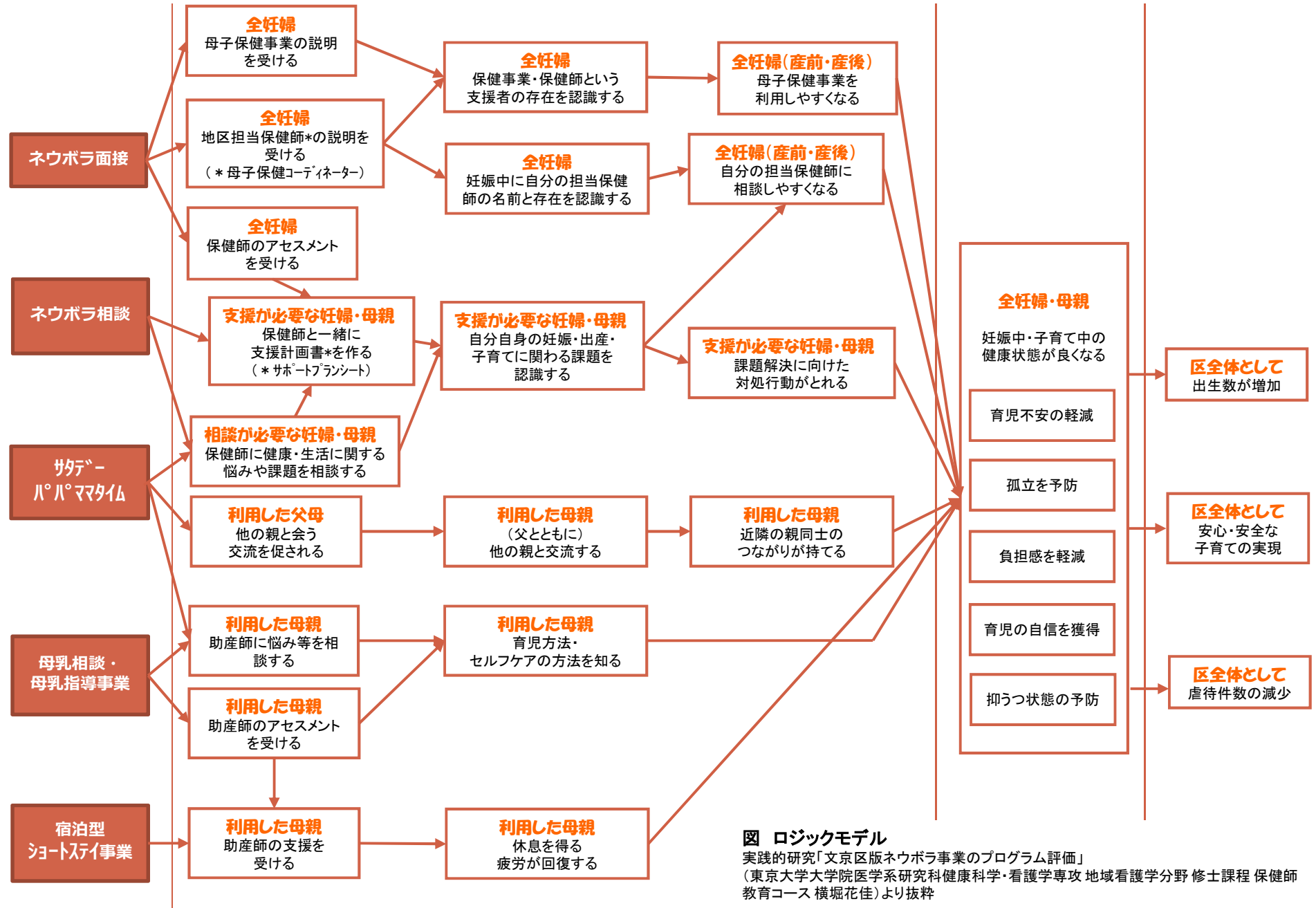


図 ロジックモデル  
 実践的研究「文京区版ネウボラ事業のプログラム評価」  
 (東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻 地域看護学分野 修士課程 保健師教育コース 横堀花佳)より抜粋



# 他部門・他機関との連携

## 【既存の会議体等を利用】

- 要保護児童対策連絡協議会実務者会議・個別ケース会議
- 特別支援連携協議会
- 乳児家庭全戸訪問事業委託助産師連絡会
- 子ども家庭支援センターとの連絡会、事例検討会 など

## 【随時連携】

- 庁内：子ども家庭支援センター、子育て支援課（子育て広場等）、  
婦人相談員、教育センター（療育部門）、障害福祉課、  
幼児保育課（保育園）、障害者就労支援センター
- 外部：事業委託先助産院・助産師、医療機関、主任児童委員、  
社会福祉協議会 など

## 【関係機関との連携数】 ※延件数

	妊産婦	乳幼児	計
H26年度	194件	517件	711件
H27年度	249件	817件	1066件
H28年度	367件	926件	1293件

# 文京区 包括支援ネットワーク

区立保育園  
家庭的保育  
東京都認証保育所  
小規模保育園  
私立保育園

**保育園・幼稚園**

- ・子育てステーション事業
- ・緊急一時保育事業
- ・リフレッシュ一時保育事業

特別支援連携協議会

**教育センター**

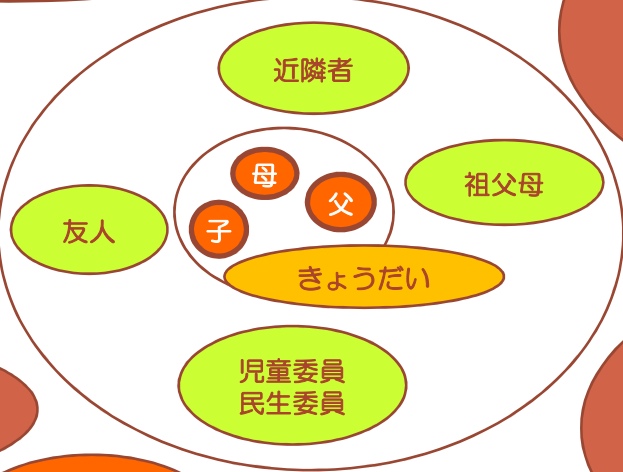
- ・子どもの発達・教育に関する総合相談
- ・児童発達支援センター
- ・自然科学教育事業
- ・情報科学教育事業

**子育て支援課**

- ・子育てひろば
- ・子育て訪問支援券事業
- ・ショートステイ・トワイライトステイ事業
- ・一時保育事業
- ・病児・病後児保育事業
- ・訪問型病児・病後児保育利用助成
- ・ひとり親家庭等への支援
- ・子どもの医療費助成

**障害福祉**

- ・障害福祉サービス



**子ども家庭支援センター**

- ・子どもと家庭に関する総合相談
- ・育児支援ヘルパー派遣事業
- ・育児スキルトレーニング
- ・子どもの最善の利益を守る法律相談
- ・子ども応援サポート室
- ・居住実態が把握できない児童の調査

**生活福祉**

- ・生活保護
- ・母子父子家庭・女性相談
- ・母子家庭等自立支援事業

**社会福祉協議会**

- ・ファミリーサポート事業
- ・いきいきサービス
- ・子育てサロン事業

要保護児童対策地域協議会

医療機関

助産院・助産師

**保健サービスセンター・本郷支所  
(子育て世代包括支援センター)**

- ・妊娠届・母子健康手帳交付  
⇒妊婦全数面接
- ・新生児訪問・未熟児訪問  
乳児家庭全戸訪問
- ・乳幼児健康診査
- ・母子保健事業

# 連携事例

## 妊婦面接から

- ・不安や戸惑いの訴えがある
- ・相談者・協力者なし
- ・心療内科通院中

## 障害者就労支援センターから

- ・愛の手帳を所持しており、就労支援をしていたところ妊娠判明
- ・パートナーとは未入籍
- ・両親は本人の障害への理解薄く、適切な支援は期待できず
- ・本人・パートナーは結婚・出産を希望している

## 福祉事務所から

- ・適応障害の妻が妊娠
- ・うつ病の夫と二人暮らし
- ・妊婦は不安が強く、一人での外出が困難

## 妊婦健診医療機関から

- ・非定型うつで心療内科通院中
- ・表情乏しく、産後のイメージつかないと言う
- ・実家との折り合い悪い

## 妊婦健診医療機関から

- ・16週で初診
- ・妊娠届未提出
- ・婚外子を妊娠、中絶したい
- ・妊娠継続???

## 妊婦健診医療機関から

- ・健診に毎回パートナーと来院するが、パートナーが威圧的
- ・本人のみに説明すると理解ができないようで固まる
- ・検査場所にたどり着かないなど同時に複数のことできず

## 出産予定の医療機関から

- ・妊娠34週でパートナーから別れを告げられ情緒不安定
- ・突然支援体制がなくなった
- ・妊婦が精神科受診希望している

## 病院医療相談室から

- ・治療中断のHIVキャリア妊婦が、妊娠8か月で来院したが対応できない
- ・外国人で日本語は片言

## 助産院へのネウボウ相談から

- ・育児不安の相談頻回あり
- ・母にリストカット歴あり
- ・父から母へのDVの可能性あり



# まとめ

- 休息や支援が必要な産婦に専門的なケアが提供できる
  - ・ 産後ケア事業の充実で、タイムリーに専門的なケアが提供できる
  - ・ 要支援者をキャッチできるチャンネル（機会）が増えた
- 関係機関との連携がスムーズになった
  - ・ 妊娠期からの相談を受けていることが広く認識された
    - ▣ 今まではかかわりの薄かった部署からも連絡が入りやすくなっている
    - ▣ 医療機関や助産師、児童福祉部門との連携が、妊娠中・出産直後などより早期からスムーズに行えるようになった
- 地域のキーパーソンが発掘できる

# 今後の課題

- 事業や支援方法の評価・検証と改善
- 妊産婦や子育て家庭を地域で支えるためのネットワークのさらなる強化
- 多くの親と子どもへの育ちを支える、  
普遍的な予防の取り組み  
…ソーシャルキャピタルの醸成

